

地域とともにある学校づくりをめざして

I 研究の内容

1 研究の方法

(1) 研究の柱

- ・学校と保護者，地域との関わり方や，提携の方策について
- ・学校や子どもたちが，地域の人々や保護者とのつながりを生み出す実践
- ・情報の共有や発信，研究成果の共有

(2) 部員は各校の実践を報告し，それについて情報の交換・協議する。

夏季学習会ではコミュニティースクール先進校の講師を招き，「学校と地域・家庭との連携のあり方」についての学習会を開く。

常任講師の先生方に，常時ご指導・ご助言をいただく。

(3) 保護者・地域との提携について，小中で授業実践を通し研究を深める。

2 実践発表と授業研究

[実践発表…各校での保護者・地域住民と提携した教育活動や行事の実践]

(1) 勝沼小学校

- ・学校支援ボランティアによる学習活動
- ・5年家庭科「育てた米を使っておにぎりを作ろう」

(2) 笛川小学校

- ・学年親子活動，おまつりやむかしのあそび集会，読み聞かせ

(3) 大和小学校

- ・基本的な生活習慣確立のための家庭との連携（生活ノート），勝頼公太鼓指導
- ・コミュニティースクール実施に向けた種々の取り組み

(4) 松里小学校

- ・2年生活科「町探検に行ってみよう」における，家庭や地域住民とのふれあい

(5) 菱山小

- ・学習支援型コミュニティースクールをめざしての人材掘り起こし，文化祭交流

(6) 塩山北小学校

- ・親子や祖父母で地区を巡り学ぶふるさと学習，スクールガード隊，お弁当の日

(7) 山梨南中学校

- ・22年目を迎えた有価物回収事業における保護者や地域住民との提携

## 〔夏季学習会〕

「学校と地域・家庭との連携のあり方」～教育課程を介して地域社会とつながる学校  
づくりについて～ 講師：双葉西小学校職員

## 〔授業研究〕

(1) 中2 道徳「勤労・奉仕」～ワインにかけた2人～ 丸山正史先生（勝沼中）

学区でワイン作りに携わっているゲストティーチャーの話を通して、勤労の尊さを重んじる生き方を学び、奉仕の精神をもって自らすすんでそれを実践しようとする態度を育てることを目あてとした授業。学校における自分の役割だけで終わらずその後の職場体験(キャリア教育)にまでつなげ、さらに地域を誇りに思う気持ちを育てる授業実践。

(2) 小4 道徳「郷土への思い」～兵左衛門の水～ 雨宮加代子先生（塩山南小）

郷土のために尽くした先人の業績や苦労、また、現在も郷土のために貢献している人たちの思いを知り、郷土を大切にしようとする気持ちを育てることを目あてとした授業実践。地域の消防団員がゲストティーチャー。

## II 成果と課題

### 1 成果として

- 各校の実践発表を通して、様々な連携のあり方について情報交換をし、それぞれの成果と課題について理解を深めることができた。自校の実践に結びつけたり、生かしたりすることにつながった。
- 夏季学習会では、コミュニティースクール先進校の講師を招き「地域や保護者との連携」についていろいろな実践を知ることができた。連携には大変な部分も多いが、今後の教育活動に生かしていきたい。
- 郷土や地域の先人を教材に取り上げることで、子どもたちにとっての興味関心が高くなり、また地域の方や保護者に対しても、学校で授業実践していることについて、知ってもらう良い機会になった。

### 2 課題として

- 開拓した地域の教育力を、継続的に取り入れていけるような取り組み・手だてを考えていく。また、新しい人材の確保や育成について考えていく。
- 外部講師との連携を仕組むうえでは、時間の確保や内容については方法をさらに追求していく。

## III 成果物

○学習指導案・ワークシート・カード等 ○各校の実践レポート

(部長 渡邊 由美子)